

鶴彬 絶筆句 (1936 年 3 月)

高梁こうりやんの実りへ戦車と靴びょうの銚しやう屍しかばねのゐないニュース映画で勇ましい出征しゅんげいの門標もんびょうがあつてがらんどうの小店

万歳とあげて行つた手を大陸において来た

手と足をもいだ丸太にしてかへし

胎内たいないの動き知るころ骨こつがつき

「プーチンの戦争」は昔の日本と重なる。惨劇はピカソが描いたゲルニカ、オキナワ戦の姿でもある。辺野古では瀬長亀次郎の遺志を引き継ぎ、基地反対の闘いが続いている。(周)

皆んなで選んだ
今月の秀句

世界から反戦の意志手をつなぐ
亀次郎の遺志を引き継ぐ辺野古の火
これでもか今日もゲルニカ見せられる

小山 宏助
遠田 亀公子
岩佐 ダン吉

来月例会案内

4 月例会

4 月 28 日 (木)

投稿締切

25 日 (月)

課題「地」

3 句以内

自由吟

5 句以内

自選句、自解筆もよろしく。

◆ 目次

川柳互選・課題吟「志」	2
自由吟	3
おたより	5
推薦句の短評	6
ほのぼの川柳	8
川柳連作・《川柳ひと言》	9
連作三人／天声人語	10
ウクライナ情報	11
連載／夢二「東京災難書信」	12
戦争前夜抄《37》	13
鈴木義男の弁護	16
編集後記を兼ねて	13

3月の 川柳互選

◆ 点の付け方

推薦句◎…2点、準推薦句○…1点
◎3句以内。○全体の半数以内。

◆ 課題吟「志」（互選）

一人 3句以内吐

(投句16人／18人の互選)

- | | | |
|---|--------------------|-----|
| 1 | 「和川柳社」創立一九五五金沢で | 未知子 |
| 1 | 志なし全くなしてふ中高生 | ふさ子 |
| 2 | 志高らかに職務全う | 高坊 |
| 2 | 思えるか市議人生初志貫徹 | 高坊 |
| 2 | 我が国は隣と志通じてね | 一角 |
| 2 | どん底へ前向き志向で蘇る | 尊柳 |
| 2 | 志しならず平々凡々に | 尉 |
| 2 | 志持つても空しい利己主義増加の日本人 | ふさ子 |
| 3 | 八十余年志は皆消へて生きてきた我 | ふさ子 |
| 3 | 反骨の志士はあの世も前出る | 亀公子 |
| 3 | 内灘の米軍基地が一吐呼ぶ | 未知子 |

- | | | |
|----------------|-----------------|-----|
| 3 ₁ | 北大に進み大志を受け継げよ | 尉 |
| 4 | これと言う志望はないがただ歩く | ダン吉 |
| 4 | ウクライナの人々志しを大切に | 宏 |
| 4 | 強いプーチン物も言わせぬ独裁者 | 宏助 |
| 4 | 選挙終え我が志新たにす | 北の山 |
| 4 | NO WARの志持ち俺は言う | 一角 |
| 4 | 志すたびに私が萎んでる | ダン吉 |
| 4 ₁ | 志時どき僕に問うている | ダン吉 |
| 4 ₁ | 実を結ぶ初志貫徹の趣味の道 | 尊柳 |
| 4 ₁ | 母反対息子は意志を成し遂げた | ひろみ |
| 5 | 高卒の寸志の給与に愕然と | 高坊 |
| 6 ₁ | 志半ばに挫折繰り返す | 尉 |
| 6 ₁ | ロシア産蟹鮭食わん我が志 | 一角 |
| 6 ₁ | 戦争は子・民間人も巻き込みし | 宏 |
| 7 | 死のロード「人道回廊」保障せよ | 宏 |
| 7 | 反権力一筋道の志 | 尊柳 |
| 8 | 棺に撥（バチ）有志見送る祭り歌 | ひろみ |

10	争いを止めるもするも人の意志	白真弓
10 ₁	志踏みにじつてく不況風	白真弓
10 ₁	ロシアには屈服するかと固い意志	撤乗
10 ₁	すれ違ふ意志がぶつかる地獄絵図	立東爺
11	ウクライナふる里死守した遺志強し	宏助
11 ₁	戦争知る岡田一吐の志	未知子
11 ₂	今でこそ墨子輝く非戦論	立東爺
12 ₁	ちつぽけな志持つ独裁者	撤乗
12 ₃	純粹な志願兵たち雪の葬	ひろみ
13 ₂	志願せよと強要された特攻兵	撤乗
13 ₅	NO WARの意志大気圏突き抜ける	白真弓
15 ₃	鶴の碑に込めた有志の思い継ぐ	亀公子
15 ₅	ロシアの愚日本の昔と重なり見	立東爺
16 ₃	世界から反戦の意志手をつなぐ	宏助
19 ₆	亀次郎の遺志を引き継ぐ辺野古の火	亀公子

◆ 点数表記について

点数右下の小さい数字は、2点句◎に推した方の数です。

◆ 自由吟（互選）

一人5句以内吐

（投句16人／18人の互選）

3	国軍と若者との内戦ミャンマーで	未知子
3	避難した子らにボルシチ贈りたい	白真弓
2	プーチンへ泥沼化するウクライナ	尊柳
2	岸田さん白内障か視点ぼけ	白真弓
2	金沢で平和の行進また来年	高坊
2	仲介で名前をあげたトルコです	一角
2	アメリカとNATOが捨てたウクライナ	白真弓
2	付きまとわれあれはストーカーだったのか	ひろみ
	青黄色ファッショ臭にむせ返る	白真弓
	八年後冬オリンピック札幌予算越す	宏

3	遺骨の犬に別居せし妻の供花	尉	5 ₁	母と行商 米と交換背に重し	ひろみ
3	自民京都マナーロンドンリング各地でも	宏	6	義援金気をつけなはれ軍事費に	高坊
3	自民広島1・5億円本部よりヤブの中	宏	6	仲介をする国人を尊敬し	一角
3	プーチンに異議ありハッカーアノニマス 亀公子	亀公子	6	マカロニの値上げが近いロシア産	一角
4	内外に?つきまくる独裁者	撤棄	6	面従腹背 プーチンの負け戦	尉
4	生き抜いてゆく老犬を見送りに	尉	6	プーチンの核の威嚇は許せない	尊柳
4	同盟は仲介のとき役立たず	一角	6	腹からの笑いは出ないどつき漫才	ふさ子
4	老犬の支えで生きた小一年	尉	6	プーチンの戦車に乗った同伴者	亀公子
4	ウ国(こ)にスボット他国の侵略霧に消え	高坊	6 ₁	薪抱え貰い風呂した女の子	チエ子
4	世界中手球に取られた2・24	立東爺	6 ₁	青黄色白青赤でハト飛ばそ	白真弓
4	プロパガンダ何を囁んだと独り言	未知子	6 ₂	青空と小麦色ですウクライナ	立東爺
5	現代に闇將軍が降りてきた	北の山	6	こつちも見ろよとロケット弾を発射させ2撤棄	撤棄
5	三密のとける日待つ川句会	宏助	7	もう近い終末時計針が振り切る	亀公子
5	非核三原則被爆国への生命線	尊柳	7	ミャンマーの悲劇ロシアに隠れ蚊帳の外	未知子
5	核共有論安倍や維新に浮上する	尊柳	7 ₂	戦争をしない日本が武器送る	白真弓
5	ひまわりは戦争の映画今知った	一角	8	沈黙は戦争加担声を上げ	宏助
5 ₁	国会の演説利用しプロパガンダ	高坊	8	コロナ禍で生きることへの戦いだ	宏

8	ロシアの戦争チエルノブイリを忘れるな	ふさ子
8	独裁者市民はみんな虫けらか	亀公子
8	対話無い北の射程にある平和	宏助
8	決めたはず繰り返さないあの劫火	立東爺
8 ₁	核兵器ゼロを俎上に載せるべき	ダン吉
8 ₁	核共有論憲法九条を踏みにじる	尊柳
9	千島列島返さぬ訳がよくわかる	ダン吉
9	ウクライナ地下室避難氷点下	立東爺
9	核叫ぶあのプーチンの無表情	ダン吉
9	通夜のお経「やかましわ」と幼な孫	ひろみ
9 ₁	ロシアにも何万という鶴彬	撤棄
9	度忘れか認知症かの追いかっこ	ひろみ
9	広島の子長崎の子ウクライナの子	未知子
10	忘れては困ると北が発射する	宏助
10 ₁	存亡を賭けプーチンに従わず	尉
10 ₁	侵略者常任理事国資格なし	北の山
10 ₂	バラマキの付け子や孫に背負わせる	宏助

10 ₃	生活苦にあえぐシリアの志願兵	撤棄
11 ₁	報道もされないミャンマー 忘れない	立東爺
11 ₁	雨を突き反戦デモの熱い列	亀公子
11 ₂	振り向けば母の煙に子ら号泣	チエ子
11 ₂	我が国はロシアの狂気嗤えない	未知子
11 ₂	地震コロナ戦争夢と思いたし	ひろみ
12	砲弾を背に子どもらの目に涙	撤棄
12 ₁	透析の長針痛み生を知る	宏
12 ₂	SFでなかった世界最終戦	立東爺
13 ₂	宇宙から地球を見れば国境なし	北の山
14 ₄	ナチ化とは己のことじゃないですか	ダン吉
17 ₆	これでもか今日もゲルニカ見せられる	ダン吉

おたより

◆岩佐ダン吉さん

柳論を始め各種の読み物満載の会報、いつもありがとうございます。ほぼ全ページを拝読

し、「あつそうか、そんな話も……」 勉強になりますね。711号の「全句集」、お世話様でした。「わが句」と対面しイマイチやなあ、と思っています。さて、会報の到達日と投句締め切り日の設定のいい加減さは早く正常に戻して下さい。「3月例会日」が24日、投句締切は21日、会報到着は24日でした。よろしくお願いします。お元気で。

(ダン吉さんへ。遅れ遅れの会報、申し訳ありません。がんばります。||編集子)

~~~~~

## ◎◎ 推薦句への短評 ◎◎

### ◆課題『志』……………

・亀次郎の遺志を引き継ぐ辺野古の火 亀公子  
カメジローさんの意志を冲縄、良いですね。全国でも頑張らないと思わされます(高坊)  
忘れてはならない先達(尉)

・鶴の碑に込めた有志の思い継ぐ 亀公子

志は引き継ぐもの(尉)

・NOWARの意志大気圏を突き抜ける 白真弓

どんな理由があるうとも戦争は絶対ダメつ強い強い意志に共感しました(未知子)

ウクライナの反戦が一段と高まっている。「大気圏を突き抜ける」の表現が抜けている(亀公子)

・戦争知る岡田一吐の志 尊柳

寡黙で鋭い筆致の一吐さんにお会いしたのは19年前、一度きり。でも氏の「川柳人記載鶴彬の生涯」で不世出の彬を知りました。彬が一吐さんが今の時代をどう詠むかと……(ダン吉)

・純粋な志願兵たち雪の葬 ひろみ

純粋な……人が亡くなって、首謀者は安全なところで腹立たしい(高坊)

・ロシアの愚日本の昔と重なり見 立東爺

ウクライナ侵攻初日、友人からの携帯で実情を知った。「プーチン、どついうことー!!」(くに子)  
ロシアの愚を他人事として見ない姿勢がいいと思う(善之)

・今でこそ墨子輝く非戦論 立東爺

墨子を再認識する (尉)

・ウクライナふる里死守した遺志強し 宏助

ふる里を守り亡くなった方の遺志が報われるのを  
祈る。(立東爺)

・世界から反戦の意志手をつなぐ 宏助

プーチンの蛮行に対して一四一か国が非難の声を上  
げた、一方で核共有を叫ぶ我が国の政治家、世界  
の意思はここにあり(北の山)

・母反对息子は意志を成し遂げた ひろみ

とにかく母が言う事を聞かず、自分の意志を貫く  
心の強さに胸がいっぱいである(ふさ子)

・ちっぽけな志持つ独裁者 撤棄

独裁者は大きな顔をして威張りくさっているが、中  
身はちっぽけだと看破。痛快(白真弓)

・志願せよと強要された特攻兵 撤棄

「志願」とは、自主的なものなのに、戦争はそれ  
も狂わせることをズバリと(白真弓)

◆自由句……………

・生活苦にあえぐシリアの志願兵 撤棄

生活苦から志願兵は各国で今から増えるだろうと

思います。非正規の方などが給料の良い正規の兵隊  
になりたい、成るを得ない状況に(高坊)

・核共有論安倍や維新に浮上する 尊柳

機を狙い核共有論、ゼレ国会演説利用と被爆国の  
国民の代表であるはずの国会議員達が恥ずかしい、  
辞すべき議員の多いこと(高坊)

・宇宙から地球を見れば国境なし 北の山

地球から見たら、国境は無い。まさにその通りだ  
と(高坊)

・青空と小麦色ですウクライナ 立東爺

平和の色とは(尉)

・ナチ化とは己のことじゃないですか ダン吉

天につばとはこのこと(尉)

皮肉が面白い(善之)

・ロシアにも何万という鶴彬 撤棄

世界にいる方の鶴(尉)  
いてほしい(白真弓)

・これでもか今日もゲルニカ見せられる ダン吉

およそ九十年前の爆撃の悲劇を思い出させる昨今、  
進歩しない人間たちを「ゲルニカ」という言葉に託  
した(白真弓)

ピカソのゲルニカ展を見たことがある。戦争に対する彼の絵に胸を打たれました。戦争はいつも悲劇だ  
(亀公子)

ゲルニカの悲劇と同様の光景がウクライナであふれている。ゲルニカはドイツによって、ウクライナはロシアによって (立東爺)

・薪抱え貰い風呂した女の子 チエ子

子供の頃はもらい風呂が普通に行われていたことを懐かしく思い出しました。「これ焚き付けに使ってください」と言つて杉の木の葉(当地ではスンバ)を持ってきた下だった方もありました(北の山)

・母と行商米と交換背に重し ひろみ

少子高齢化が叫ばれる今、作者の母が子どもらを支えてきたことを忘れない (ふた子)

・忘れては困ると北が発射する 宏助

極東の平和もロシアがらみで複雑化してきたことを思い出させてくれた (白真弓)

・プーチンの戦車に乗った同伴者 亀公子

「あ」のつく人の事だよ (白真弓)

・プーチンに異議ありハッカーアノニマス 亀公子  
最近の時世の言葉をうまく使っている (白真弓)

・雨を突き反戦デモの熱い列 亀公子

きれいすぎるくらい、まとまっている (白真弓)

・青黄色白青赤でハト飛ばそ 白真弓

ウクライナとロシアの国旗の色だと気づきました。本当にハトを飛ばせる日が来ることを願つてやみません (未知子)



ほのぼのの川柳

クラブなく久しぶり遊ぶ友達と  
半年で1万5千走ったよ

ポケモンのぬいぐるみ達増えてきた

春が来る草も毛虫もみな元気

神田 鯛

神田 鯛

神田 鯛

東 爺

川柳連作「狂気の沙汰」 遠田 亀公子

平和維持その銃口が街に向く

独裁者威嚇恫喝核の脅迫

第三次大戦前夜鳴る警報

プーチンの大義の下の壊滅戦

学校も病院もない無差別砲

原発も狙い撃ちする大暴走

国中の口を封じてする戦

目の前に無慈悲な死骸見る世紀

帝国の野望に憑かれ撃つ平和

~~~~~

亀公子の《川柳ひと言》

二月二十四日ロシア軍がウクライナに侵攻したとの号外が飛び込んできた。ロシアの独裁者プーチンは平和維持だと称し十八万からの軍隊を南東北の三方から一気にウクライナへ進軍さ

せたのだ。

あれから十五日、その様子が全世界に映像として配信され、私達はそれを毎日見せつけられている。戦争という非人道的な現実をこの二十一世紀にまた目の当たりにしようとは誰が想像したろう。

プーチンは最後まで計画を遂行すると強弁、これまでに庁舎、学校、病院、住宅等は勿論ついいには原発まで攻撃の対象にし出した。恐ろしいことに、事態が進展しないのに苛立ち国連が禁止している無差別爆弾であるクラスター爆弾や燃料気化爆弾も使い出した。そして「もし手出しをするなら核使用もありうる」と狂気の沙汰としか思えない発言を並べて憚らない。まるで悪夢である。

もしかしてこれは第三次大戦の戦端になるかもしれないと危惧するのは早計だろうか。鶴彬の代わりに、今こそ私たちは川柳を武器に声を上げねばならないと思う。

◆連作 坂本ふやい

簡単で安くて早いこの便利すぐこみになる景気認めず

内密出産する程生みたい子なら最後まで母は責任を持つて

自分等で作ったルールも守られぬ「マスク自由」と叫ぶな市議は

卓上のゲームのごとくに戦争をただ出し出すメディアを叱る

◆連作 新谷宏

2022年春 原発

汚染土はここに持つてこい 皇のお墓

汚染水 パイプラインで 大手濠 おおてほり

2022年春 戦争

戦費送り 返り血浴びる 庶民層

ウクライナ 戦争募金 子の手から

◆連作 岩原 一角

「オデッサ」

オデッサか！ポチヨムキンが怒る今

君知るかエイゼンシュタインの想い

津軽海黙って通す砲艦を

わが国は二十一億円ロシア向け

レーニンもトロツキも怒るオデッサ

▼ ゼレンスキー講演の事前案内

演説生中継スケジュール	
①衆院議長あいさつ	1～2分
②スタンディングオベーション	約1分
③ゼレンスキー大統領演説	10～15分
④スタンディングオベーション	約1分
⑤参院議長あいさつ	1～2分

「天声人語」2022/3/17 朝日新聞

日中戦争下の日本に、鶴彬という

川柳作家がいた。戦争のむごさを短

句に刻んだ。〈手と足をもいだ丸太

にしてかへし〉。石礫のような言葉

の力が、当局から警戒されたか。治

安維持法違反で捕らえられ、獄中

で若き命を落とした▼〈屍のあな

いニュース映画で勇ましい〉。戦争

を正当化し、美化するプロパガンダ

映像への強い皮肉である。川柳雑誌

に掲載された彼の句は当時、どれく

らいの人の目に触れたのだろう▼ロ

シアで多くの大が見ている夜9時の

ニュース番組。その機会を捉え、身

を賭して訴えようと彼女は考えたの

だろう。国営テレビの生放送中に掲

げた紙には、短く強い言葉があった。「戦争反対。プロパガンダを信じな

ウクライナ情報

国会演説に異様な議員達

3月23日、異例の「スタンディングオベーション」も組み込まれていたゼレンスキー大統領の国会演説。報道されたあととネット上は騒然。「スタンディングオベーション」は自然に発生するものでしょ普通」「これ、違和感しかない」と。確かにおかしな雰囲気だった。

「れいわ」3人の議員を除き、他は共産党も含め全員が立ちあがり、まるで体制翼賛の雰囲気。

◆野党の反応…

立憲民主党泉健太代表「改めてロシアの完全撤退を一刻も早く国際社会の力でしていかないといけないと強く感じた。」
共産党志位委員長「ロシアによる侵略と戦争犯罪に対する

深い憤りと、祖国の独立を守り抜くという強い決意が伝わってきた。経済制裁と非軍事の形で復興支援を行っていく必要がある。生物化学兵器も核兵器の使用も断じて許さないとという声を上げていくことが重要だ。」

社民党福島瑞穂党首「難民の人たちへの支援など、日本がやれる限りのことはやっていくべきだ。」

れいわ山本太郎代表「軍事侵攻を受ける国の首脳として他国に連帯と行動を求めることは当然。しかし、日本の国会として拙速に反応すべきではない。(憲法の精神で)独自の立場を貫き、制裁の強化拡大に安易に加わるべきではない。ウクライナ周辺国への支援、ウクライナ避難民受入れ拡大を。」

いで。ここではあなたにウソをついている」▼テレビ局の職員である彼女は、警察に連行された。禁錮刑ではなく罰金刑が早々と決まったのは、当局のあせりを示しているのか。あるいは重い罰がこれから待っているのか▼プーチン政権のウソがあまりにひどいと分かるのは、私たちが外にいるからだ。もしもあの国の中にいて「我が軍は解放勢力」「砲撃はウクライナ軍のしわざだ」などの話にさらされ続けたら、どうだろう。だからこそ官製情報のはころびには大きな意味がある▼インターネットも規制を受けるが、何とかかいくぐっている人もいるらしい。ウクライナにいる家族や友人からも情報がしみ出す。〈暁を抱いて闇にある薔。これも鶴彬の作である。どうか夜明けが近からんことを。

連載

東京災難畫信

竹久夢二

六、自警団遊び

「萬ちゃん、君の顔はどうも日本人ぢやあないよ」

豆腐屋の萬ちゃんを掴へて、一人の子供がさう言う。郊外の子供達は自警団遊びをはじめた。

「萬ちゃんを敵にしやうよ」

「いやだあ僕、だつて竹槍で突くんだらう」

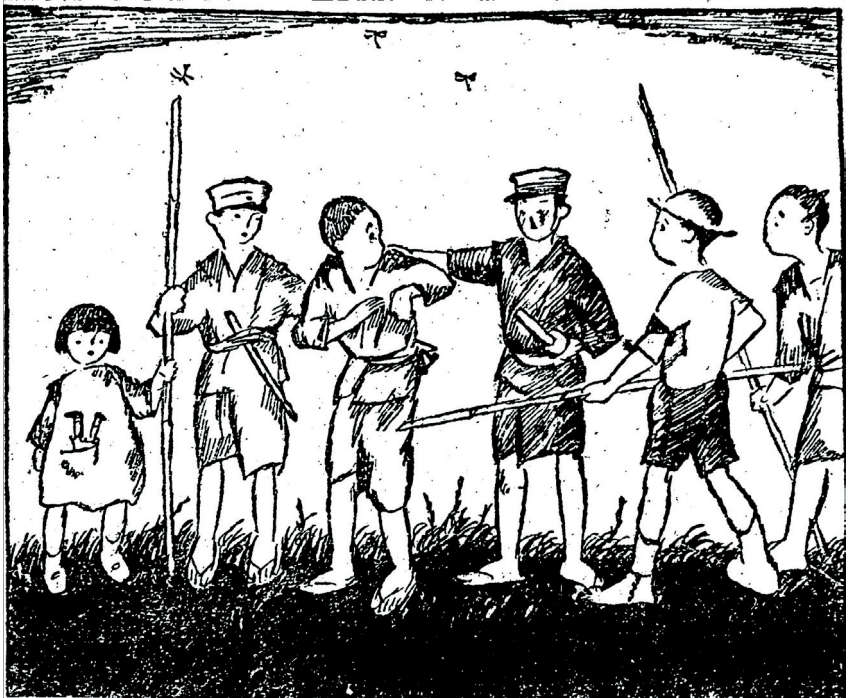
萬ちゃん尻込みをする。

「そんな事しやしないよ。僕達のはたゞ眞似なんだよ」
さう言つても萬ちゃんは承知しないので餓鬼大将が出てきて、

「萬公！敵にならないと打殺すぞ」と嚇かしてむりやり敵にして追かけ廻してゐるうち眞實に萬ちゃんを泣くまで殴りつけてしまった。

子供は戦争が好きなものだが、當節は、大人までが巡查の眞似や軍人の眞似をして好い氣になつて棒切を振りまはして、通行人の萬ちゃんを困らしてゐるのを見る。

ちよつとこゝで、極めて月並の宣傳標語を試みる、
「子供たちよ。棒切を持つて自警団ごっこをするのは、もう止めませう」



都新聞 大正十二年九月十九日 水曜日
戦争前夜の竹下夢二は2020年の会報9月号、11月号参照

連載

戦争前夜抄

周立東爺

37

治安維持法事件

鈴木義男弁護士への弁護

その2

弁護士・鈴木義男の経歴を紹介しておきたい。

1894年（明治27年）1月17日に福島県西白河郡白河町で生まれる。東北学院に学び東京帝国大学を卒業後に学者となり、東京女子大学教授・東北帝国大学教授・法政大学教授を歴任する。退職後は弁護士業を開業して、帝国弁護士会理事となった。（ネット辞書 Wikipedia より）

鈴木義男の戦前の弁護士としての活動はほとんど知られていなかった。戦前の彼の業績は、出身大学である東北学院・現名誉教授、仁昌寺正一が主宰する「鈴木義男研究会」の自主研究の中で次第に明らかにされてきた。

鈴木が弁護士となったのは、自らの強い意志によるといふより、消極的選択であったといわれる。弁護士になりたての鈴木は、文筆活動や学校の非常勤講師で食いつないでいた。

鈴木はその後、刑事弁護の道に進む。多くの刑事事件に関わり、次第に弁護士として実績をあげていった。

その仕事ぶりは、「人権尊重の立場に立ち、不当の迫害に対してその被害者を守るという意識から弁護を引き受けた」と総括されている（平和人物大事典）。

弁護士活動は、知識層中心に治安維持法違反事件に取り組み、河上肇や宮本百合子など多数の『弁護弁論要旨』が発見され、弁護活動の内容を詳しく知ることができるようになった。著名な知識人、文化人がリストアップされている（15頁を参照）。

治安維持法違反事件の被告に対する弁護を集大成したともいえる有澤廣巳（統計学者。戦後、法

政大学総長、東京大学名誉教授）に対する弁護を紹介する。

特徴のひとつは、『有澤弁護要旨』を見ると有澤廣巳を弁護するにあたり、マルクス主義の基礎的理論から論じていること。

マルクス・エンゲルスの著書を引用し、哲学としては唯物弁証法であり、ヘーゲル哲学を批判的に摂取したものであること、その哲学を人類の歴史に適用して、独自に作り上げた歴史観が「史的唯物論」（唯物史観）であること、マルクスの経済学は「資本論」（剰余価値論）、政治論は「階級闘争論」であること、その「資本論」は、価値論、剰余価値論、再生産論、資本蓄積論として展開していくことなどが述べられている。

特徴のふたつ目は、法律によって「思想は法律では裁けない」ということを強調している。

この点は、鈴木が治安維持法違反事件の弁護を担当する中で繰り返し唱え続けてきたことで、有澤の弁護の中では、特に強く主張されている。

例えば、次のように記されている。

刑法上或者がある思想を抱懷したと云ふ丈けで刑罰に処せられると云ふやうなことはあるべきことでもなく、全くあり得ないことであります。

「法は思想は之を罰せず、罰するを得ず」と云ふ大原則があります。老荘の思想でも、プラトーの思想でも、釈迦基督の思想でも、トルストイ、カント等々の思想でも之を現実の社会に直ちに行はうとするならば安寧秩序に害なきものはないのであります。

つまり有澤がマルクス主義を「信奉」するに至ったとしても「それ丈けで被告を処罰することの出来ない」ことを述べ、有澤の無罪を主張した。「思想は思想であつて実践ではない」ことを何度も主張している。

この『有澤弁護要旨』は、なんと見開きで三六九ページ、文字数にして約十三万字の膨大なものであった。

(つづく)

(元資料は「東北学院大学の鈴木義男研究会による「鈴木義男研究序説」他)

鈴木義男が弁護した治安維持法違反事件

被 疑 者 / 検挙された年月 / 判決年月 / 判 決 (控訴、上告、再審など)

山田盛太郎 (東京帝国大学助教授) / 1930 年5月 / 1932 年 / 懲役2年・執行猶予3年

平野義太郎 (東北帝国大学助教授) / 1930 年5月 / 1933 年4月 / 懲役2年・執行猶予1年

大塚金之助 (東京商科大学教授) / 1933 年8月 / 1933 年7月 / 懲役2年、執行猶予3年 同上

河上 肇 (京都帝国大学教授) / 1933 年1月 / 1933 年8月 / 懲役5年

宮本百合子 (作家) / 1935 年5月 (4度目) / 1936 年6月 / 懲役2年・執行猶予4年

大竹廣吉 (なつか社社長) / 1936 年 / 懲役5年

修養同友会事件 (文学者・思想家など) / 1937 年 / 1939 年 12 月 ※李光洙の
場合 無罪 (第一審) / 1940 年 8 月 / 懲役5年 (第二審・控訴審) / 無罪 (第
三審・上告審) / 1941 年 11 月 / 無罪 (第三審・上告審)

鈴木茂三郎 (政治家) / 1937 年 12 月 / 1942 年 9 月 / 懲役5年 / 1944 年 9 月
懲役2年6ヶ月 / 1945 年 11 月 免訴

山川 均 (著述業) / 1937 年 12 月 / 1941 年 9 月 懲役5年 (第一審)
/ 1944 年 9 月 懲役3年 (第二審) / 1945 年 11 月 免訴

有澤廣巳 (東京帝国大学助教授) / 1938 年2月 / 1942 年9月 懲役2年、執行
猶予3年 (第一審) / 1944 年 10 月 無罪 (第二審)

宇野弘蔵 (東北帝国大学助教授) / 1938 年2月 無罪 (第一審) / 1940 年12月 / 無罪 (第二審)

美濃部亮吉 (法政大学教授) / 1938 年2月 / 1942 年9月 / 無罪 (第一審) / 無罪 (第二審)

大内兵衛 (東京帝国大学教授) / 1938 年2月 / 1942 年9月 / 無罪 (第一審) / 無罪 (第二審)

脇村義太郎 (東京帝国大学教授) / 1938 年2月 / 1942 年12月 無罪 (第一審) / 無罪 (第二審)

和田博雄 (企画院調査官) / 1941 年4月 1945 年9月 無罪

安倍豊造 (牧師) / 1942 年6月 1944 年 12 月 懲役 2 年 (執行猶予付き) → 上告
(のち、1945 年 11 月に免訴)

.....
(「鈴木義男に関する新資料 (その2)」仁昌寺 正一 雲然 祥子 より)

編集後記を兼ねて

▼ロシアのウクライナ侵攻が止まらない。プーチン大統領には昔のソ連の亡霊が乗り移ったようである。人の命を何とも思わない思考停止状態。▼ウクライナの歴史をヒモ解くとソ連、ロシア、ドイツ、フランスなどに踏みにじられ、利用され、多くの血が流されたことが分かる。▼今、21世紀でも歴史を学ばず、同じ事が繰り返されている。

「鶴彬を顕彰する会」の通信「はばたき」の購読をおすすめします。年購読／3000円です。

それが日本の昔と同じだと気づいている人がどれだけいるだろうか？▼その昔、かほく市高松出身の鶴彬が詠んだ最晩年の六句を表紙に紹介しました。朝日新聞「天声人語」でも紹介された鶴彬（10頁）。没後83年も経ったが句は生きている。▼ウクライナの犠牲者は声を上げること出来ず、またロシア兵の多くも疑問を抱きながらウクライナの地で雪に埋もれているのだろう。これがプーチンの戦争だ。川柳で何が出来たろうか。鶴彬の表現力に学びたい。（周）

4月例会ご案内（毎月第4木曜日）

◆例会 4月28日（木）◆投稿×切：25日（月）

◆課題「**地**」3句以内 ◆自由吟：5句以内

◆自選吟、連作、エッセイ、川柳論などもよろしく。

◆オミクロン株警戒で例会は誌上となります。

●投稿FAX (076) 254-0762

●メールアドレスは下段に。

郵送は
下段住所へ。

「和川柳社」会報
会員募集しています！

同人：4000円／年
投句／購読：2000円／年

★会報の他に、関連資料などもお送りします。

発送に協力いただいています。

▼《食育のグリーンノート&土の音工房》《オカリナ制作》・上村彰

和川柳社 〒920-0335 金沢市金石東2丁目15-30 (3-2) (渡辺 寛)

電話 FAX：076-254-0762 PC-mail：kananabe@popolo.org

携帯：090-9445-1302 携帯 mail：kan-wata@i.softbank.jp

振込先：北國銀行中央市場支店 #191 普通 640 「和川柳社」